

すべての人を歓迎します！

発行責任者：代表／チャプレン 和氣敏治(工学博士)  
特別相談役 中野雄一郎(MOM代表)

## 「創造を伝えるとは」



ジェネシスジャパン会長  
宇佐神 実

みなさんは、この世界が創造されたことを証しすることができますか？そう尋ねられると、自分には無理だと考えてしまう人が多いのではないのでしょうか。その大きな理由は、「自分は相手を説得するのに十分な知識や資料を持ち合わせていないから」というものではないのでしょうか。

でも、私は創造を証しするのは、難しいことではないと考えています。それは、「自分は世界が創造されたと信じているんだよ」とひとこと言えればいいだけだからです。相手を説得し、納得させようとするなら、それは途端に難しくなります。大切なのは、相手を説得することではなく、自分が何を信じているかを表明することです。それが証しではないのでしょうか。

これを伝えることで、相手の人に今まで考えたこともない新しいものの見方を提供することができます。もし相手が創造に関心を持ち、聖書に関心をもってくれればそれはすばらしいことですし、そうでなくてもいつかみなさんの証しを思い

出し、自分でどちらが正しいかを考え始めるかもしれません。

ところで、創造を証しするときに大切なことがあります。第一に「世界は創造主によって造られた」と確信していることです。創造主は全能の方なので、聖書に記されている通りに世界を造ることがおできになることを私たちは知っています。第二に世界を創造した方がいることを伝えることの重要性を知っていることです。創造主が罪も死もない世界を創造されたことを知っているなら、死や病気がこの世に入った理由やイエス様の救いが必要な理由もはっきりし、救われて新しい天と地に入るためには、創造主の存在を知らせることが大切だからです。第三に、相手を説得することを目的とするのではなく主の栄光があらわされることを願いつつ、優しく、慎み恐れて、正しい良心を持って証しするということです。(1ペテロ3:15,16)

このように、多くの人が創造を信じていることを表明していくならば、天地創造だけでなく、主の存在や救いの福音を確信する人が起こされていきます。まずは、自分が創造を信じていると証ししてみませんか。

### TPCは「日本と世界のリバイバル」を目指します

- (1)閉塞感のある日本のキリスト教界に元気を与える
- (2)毎日、礼拝を捧げ、祈り会をおこなう
- (3)超教派として活動する
- (4)伝道、学びなどのために貸室を提供する